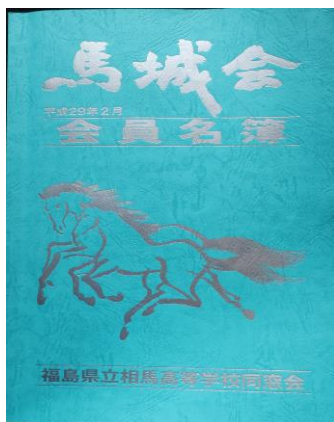


朝倉悠三さんのこと

卒業式に配られた相馬高新聞に、惜しくも昨年9月に亡くなられた朝倉悠三さん（昭34）が描かれた体育館の若駒の絵の記事があり、猪狩正志さん（昭43）に伺った内容が載っていた。



現在の馬城会会員名簿の表紙の「馬城会」という題字等も朝倉さんによるものです。



また、創立110年に当たる2008（平成10）年に発行された「イラスト相高100年」は、松岡重信さん（昭15）、佐久間喜彦さん（昭51）とともに執筆編集した相高歴史画集である。130ページ近くある大部分に彼のイラストが散りばめられています。

更に、2011（平23）年5月から2019（平31）年3月まで、約8年もの間、地元の新聞「福島民報」の「みんなのひろば」欄に毎週日曜日に掲載され続けたイラストがある。

彼は、東日本大震災の被災者への思いや東電福島第一原発事故への怒り、政治等への風刺画を描き続けた。現在、それをまとめたものが「震災絵日記」（福島民報社）として出版されている。

朝倉さんは、私が相高に入ったとき出版部の部長だった。新入生の一時期、友人と出版部に入っていたことがあった。当時、どこかの喫茶店のマッチ箱のデザインを頼まれていると言っていたように記憶している。朝倉先輩は、すごいなあと思った瞬間であった。

（3月10日 村山記）